

「池田町ジュニアリーダーズクラブ」活動について

～青少年リーダー育成活動が生み出す「つながりあい」の連鎖～

池田町教育委員会 社会教育課

1. はじめに

池田町の児童・生徒数は、少子化の影響により年々減少傾向にある。また、人口が自然減傾向に入った今、「まちづくりは人づくり」という町の基本方針の下、地方居住推進のため、地域の魅力発信や池田町で育つことの誇りと郷土愛の醸成を社会教育政策の面から推進する必要がある。

全ての子どもたちが、様々な人々と様々な場面で目的を持って楽しくふれあい、学び、活躍することで自信と勇気を得て、地域社会への関わりを深めていくための出会いと学びの場、また、緩やかで安心できる居場所の1つとして「池田町ジュニアリーダーズクラブ」活動がある。

「いつでも、どこでも、だれとでも（だれからでも）学べる」場でお互いにつながりあうことは、アイデンティティ（わたしらしさ）を確立し、豊かなコミュニケーション力とリーダーシップを備えた「人づくり」に寄与するものと考えこの事業を推進している。

2. 「池田町ジュニアリーダーズクラブ」の概要とリーダー研修会

当組織は、小学校6年生から高校生年齢相当までの子どもが、子ども会活動や町行事、地域活動へのボランティアスタッフ参加などを企画、実施する、子ども会育成協議会の組織として平成26年度に始まった。当初2年間は、行事ごとの不定期応募型をとっていたが、継続性と効果性のある社会教育活動とするために、平成28年度に会員登録制とした。その主な目的は次のとおりである。

- 1) 子ども会のリーダー研修会で、小学校高学年（インリーダー）に最も身近な存在として活動することで、手本となる姿を自ら考え、実践できるようになること。
- 2) 家庭や学校以外での体験活動で得た経験と、社会の様々な人々とのつながりを通して、広い視野と、コミュニケーション能力を養うこと。
- 3) ボランティア活動を通して、自主性を養い、相手のために何ができるかを考える力と目標のために自発的に行動ができる心（リーダーシップ）を育てること。

そのメイン活動とも言えるリーダー研修会「キッズ・サマーキャンプ in いけだ」に参加したジュニアリーダーや小学生の声は次のようなものであった。



(ジュニアリーダー)

「リーダーとしてあるべき姿を考えることができた」
「アドバイスをすることで小学生ができることを増やせるように心がけた」

(小学校高学年)

「今度は自分がジュニアリーダーとして参加したい」
「ジュニアリーダーのように気がついたことを下の子に教えられたい」

【写真①：高校生リーダーによるKYT（危険予知トレーニング）指導】

子どもたちの声からも分かるように、リーダー研修会をはじめとする異年齢での自然体験活動・生活体験活動は、子どもの望ましい成長過程において不可欠な要素であると言える。

3. 福島県国見町ジュニア応援団交流事業 ～県域を越えた「つながりあい」～

人と人のつながりあいの過程において、子どもたちの地域を見直す目を養い、郷土愛の醸成を図る活動として「福島県国見町ジュニア応援団」との交流事業を行っている。

池田町と福島県国見町とは、東日本大震災の復旧のための職員派遣を契機に、平成 25 年度に災害時相互応援協定を、平成 27 年度には友好交流協定を締結した。子どもたちの交流は、平成 28 年度に国見町ジュニア応援団が池田町へ来訪したことを契機に、平成 29 年度は池田町ジュニアリーダーズクラブが国見町を訪問、そして今年度は国見町ジュニア応援団が池田町へ来訪して行われた。

この交流事業の目的は、異なる地域に住む同年代の子どもたちとの交流活動をとおして、多様なつながりあいの中で「自分で考え行動することができる、自分の言葉で表現することができる、自分らしい生き方を考えられる」力を持つ青少年を育成することにある。また、子どもたち自身の目的としては、「地域学的観点」「生涯学習的観点」「キャリア教育的観点」の 3 つの観点から、それぞれ「地域をみる」「つながりあいから学ぶ」「『わたしらしさ』を確立する」ことを目指している。

今年度の交流事業では、アイスブレイクのゲームで混合グループを作り、「第 41 回みの池田ふるさと祭」で国見町の特産物販売やジュニアリーダーズクラブブースでの交流、池田町願成寺西墳之越古墳群の見学、池田温泉での夕食交流会（町の相互 PR、レクリエーション）、国見町ステージ発表サポート等を行った。



【写真②：アイスブレイキング】



【写真③：ブース交流】



【写真④：国見町の桃販売】

「今、振り返るとジュニア応援団の皆様と交流した事や、ジュニアリーダーズクラブの人達との交流が自分の人見知りの殻をやぶるきっかけになったのだと思います。個人的ですが、御礼を言わせていただきます。ありがとう。」

【ジュニアリーダー(池田中学校 2 年生男子)の感想文より】

印象深い姿として、お互いの「方言」や「風習」等の話題で大変盛り上がる姿、小学生、中学生という異年齢の壁を感じさせない、子どもの自然体で素直な姿を挙げるができる。感想文からも今回の活動が貴重な「つながりあい」であったことを伺うことができる。

4. おわりに

ジュニアリーダーズクラブ活動は、自分の役割を果たしながら、新たな「つながりあい」の中で生き方・価値観の多様性を学び、「わたしらしさ」を確立していくことができるものとして、また、メンバー自身にとってそのための「楽しい居場所」として、今後も系統的かつ継続的に実施していく価値のある活動である。現在、大学生となった元メンバーが、池田町のまちづくりを考える「わかも会」の代表を務めていることから、まちづくりへの関心が高く、少年期から培った経験と知恵を生かしながら社会参画ができるリーダーの育成に成果があったと言える。

このように、ジュニアリーダーズクラブ活動を終えた後、シニアリーダーやまちづくりを担う青年活動団体といった新たな「居場所」へ進んでいけるような一層の環境づくりが今後の課題である。